2026年11月4日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,212万kW
16時30分、102,121 MW（10エリア同時刻合計）

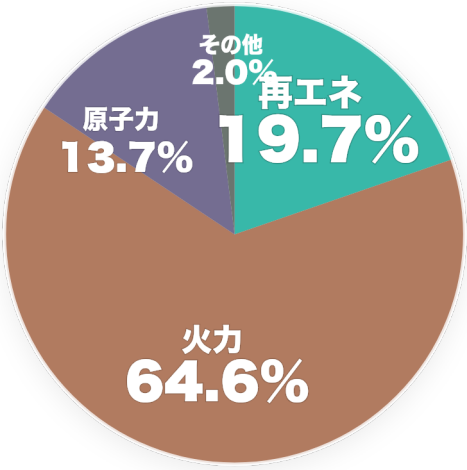
☀ 太陽光ピーク
3,184万kW
11時、31,844 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
237万kW
4時30分、2,371 MW

◇ 再エネ最大需要比
40.7%
11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
111 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
107 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 39.3%

34.1 GWh

出力抑制量

1.7 GWh

最大: 東北 1.7 GWh

揚水・蓄電の充電

29.9 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、16:30に3,370万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで39.3%でした。
- 出力抑制は東北。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**19.7%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**429 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,175 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**40.7%**	11時
出力抑制量	**1.7 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**29.9 GWh**	発電構成比には含めない

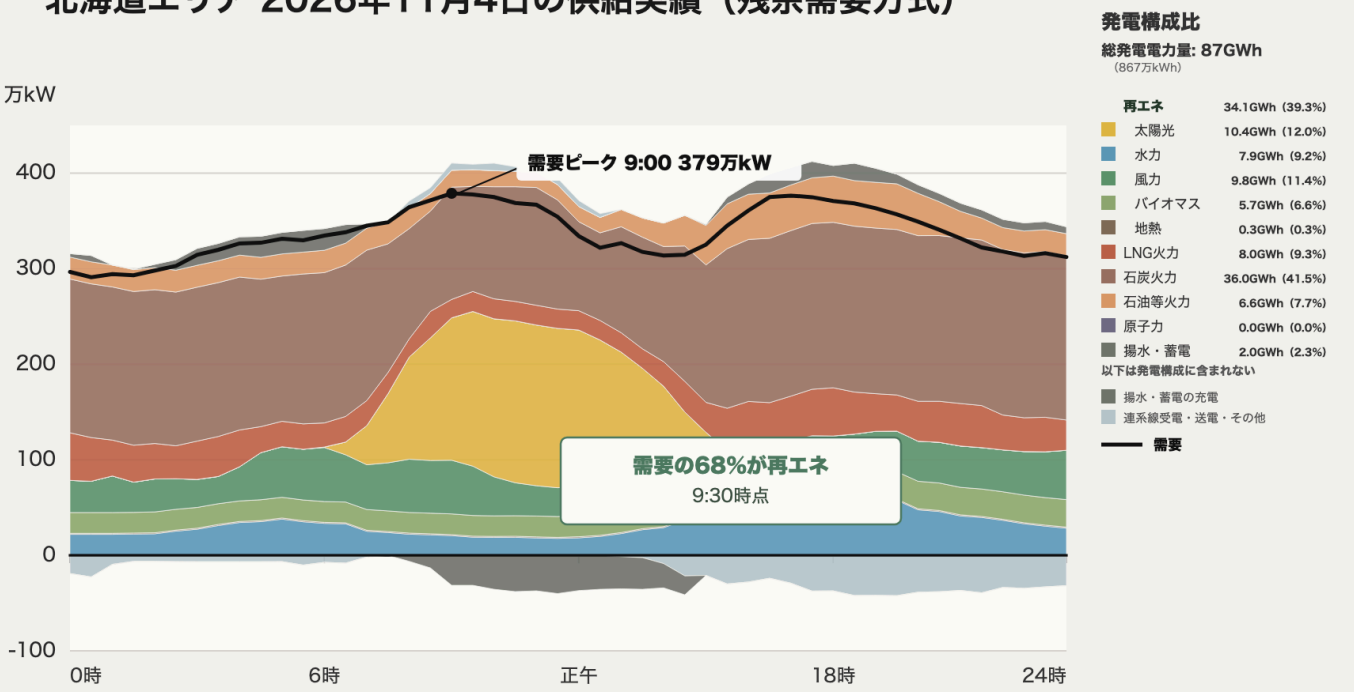
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**39.3%**	**34.1**	**0.0**	**送電 3.6**
東北	**30.4%**	**97.7**	**1.7**	**送電 107**
東京	**10.6%**	**61.9**	**0.0**	**受電 111**
中部	**21.8%**	**60.1**	**0.0**	**受電 69.4**
北陸	**32.8%**	**26.4**	**0.0**	**送電 10.4**
関西	**15.6%**	**47.5**	**0.0**	**受電 40.5**
中国	**17.4%**	**27.4**	**0.0**	**送電 13.0**
四国	**19.2%**	**19.5**	**0.0**	**送電 41.0**
九州	**21.3%**	**51.0**	**0.0**	**送電 26.5**
沖縄	**13.4%**	**3.1**	**0.0**	—

2026年11月4日の供給実績

北海道エリア

再エネ
34.1GWh
（発電電力量ベース39.3%）

北海道エリア 2026年11月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
86.7GWh

需要ピーク
9:00、379万kW

連系線・その他
3.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

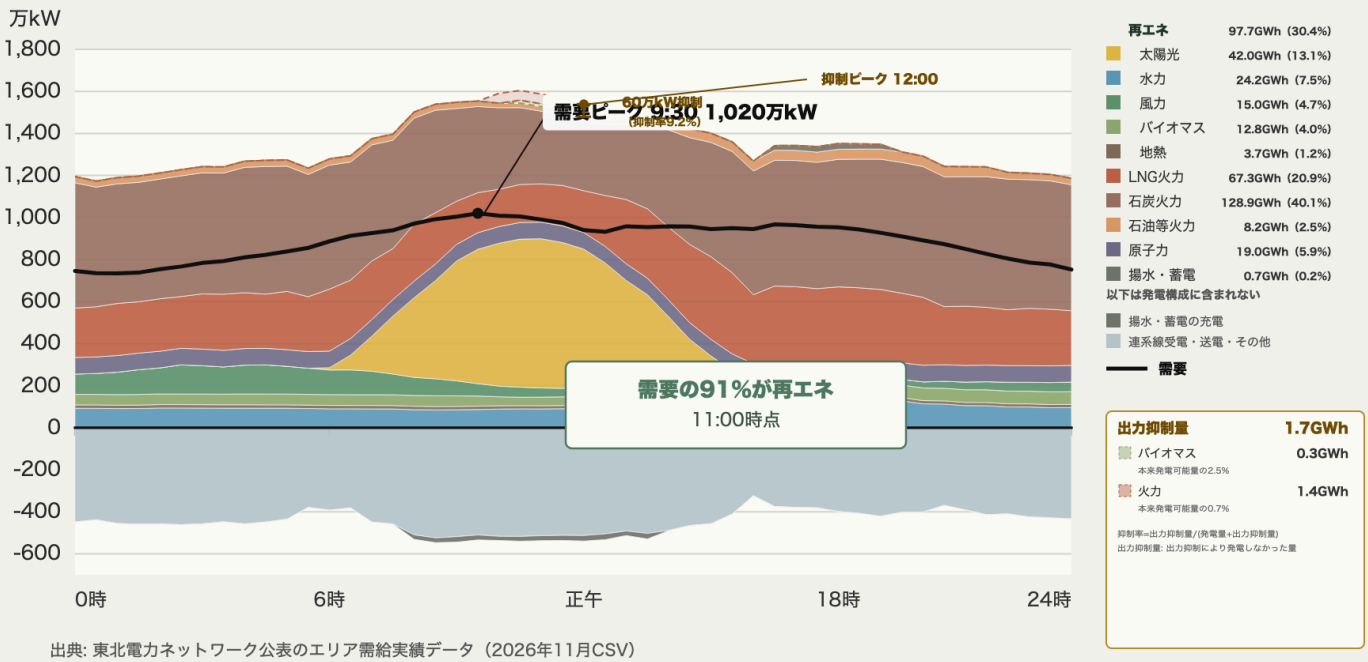
北海道は、太陽光ピーク170万kW、風力ピーク57万kWで、時間別の再エネ最大需要比は70.6%だった。

2026年11月4日の供給実績

東北エリア

再エネ
97.7GWh
（発電電力量ベース30.4%）

東北エリア 2026年11月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
321.7GWh

需要ピーク
9:30、1,020万kW

連系線・その他
106.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.4GWh

出力抑制
1.7GWh

概況

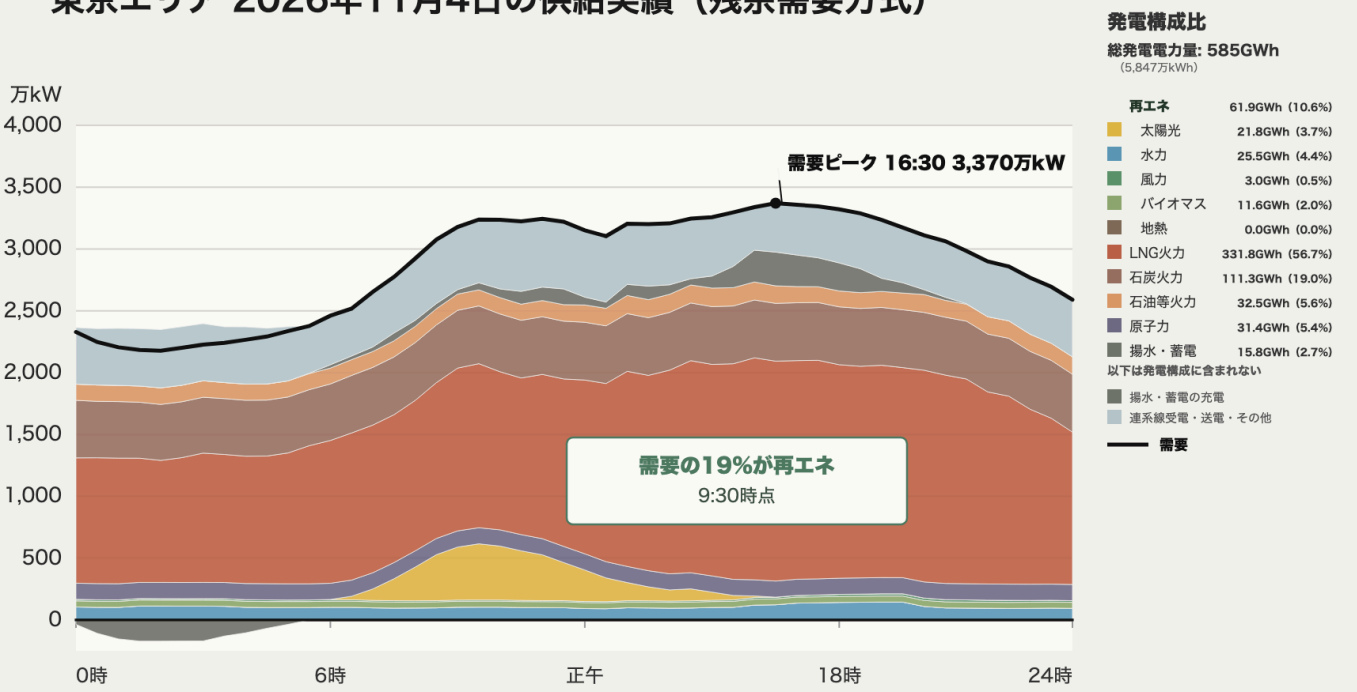
東北は、太陽光ピーク710万kW、風力ピーク139万kWで、時間別の再エネ最大需要比は90.8%だった。

2026年11月4日の供給実績

東京エリア

再エネ
61.9GWh
（発電電力量ベース10.6%）

東京エリア 2026年11月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
584.7GWh

需要ピーク
16:30、3,370万kW

連系線・その他
111.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
6.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

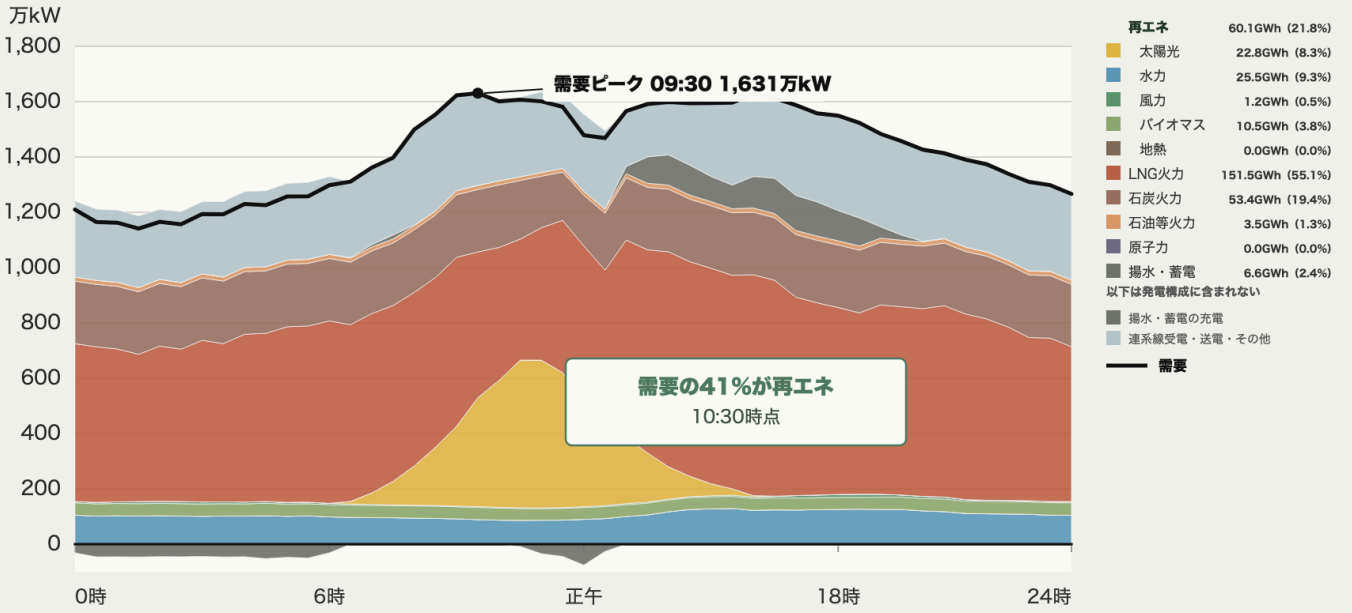
東京は、太陽光ピーク454万kW、風力ピーク19万kWで、時間別の再エネ最大需要比は19.0%だった。

2026年11月4日の供給実績

中部エリア

再エネ
60.1GWh
（発電電力量ベース21.8%）

中部エリア 2026年11月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
275.1GWh

需要ピーク
09:30、1,631万kW

連系線・その他
69.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
3.8GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

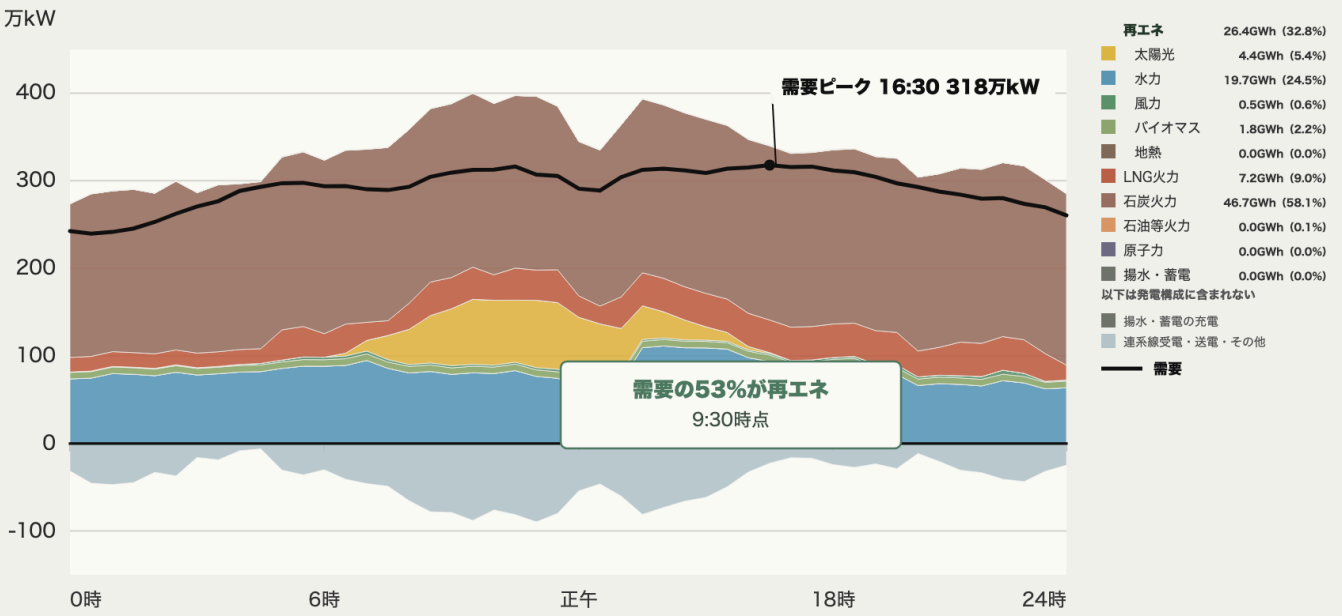
中部は、太陽光ピーク534万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は41.6%だった。

2026年11月4日の供給実績

北陸エリア

再エネ
26.4GWh
（発電電力量ベース32.8%）

北陸エリア 2026年11月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
80.3GWh

需要ピーク
16:30、318万kW

連系線・その他
10.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

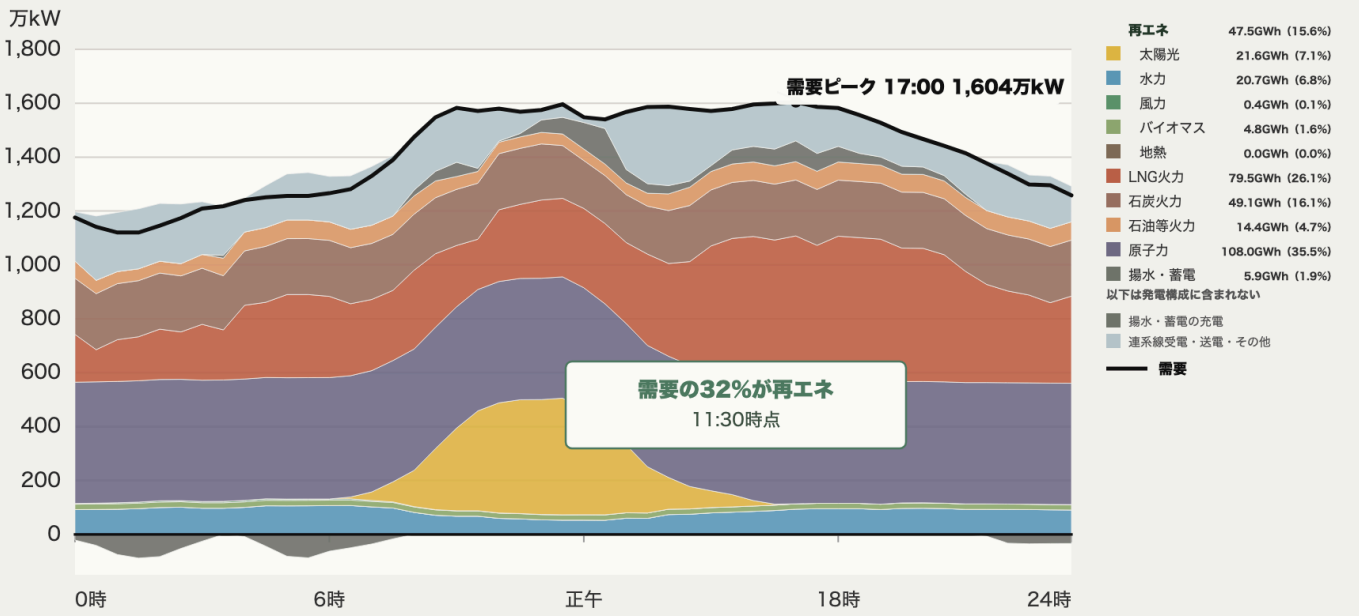
北陸は、太陽光ピーク77万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.3%だった。

2026年11月4日の供給実績

関西エリア

再エネ
47.5GWh
（発電電力量ベース15.6%）

関西エリア 2026年11月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
304.4GWh

需要ピーク
17:00、1,604万kW

連系線・その他
40.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

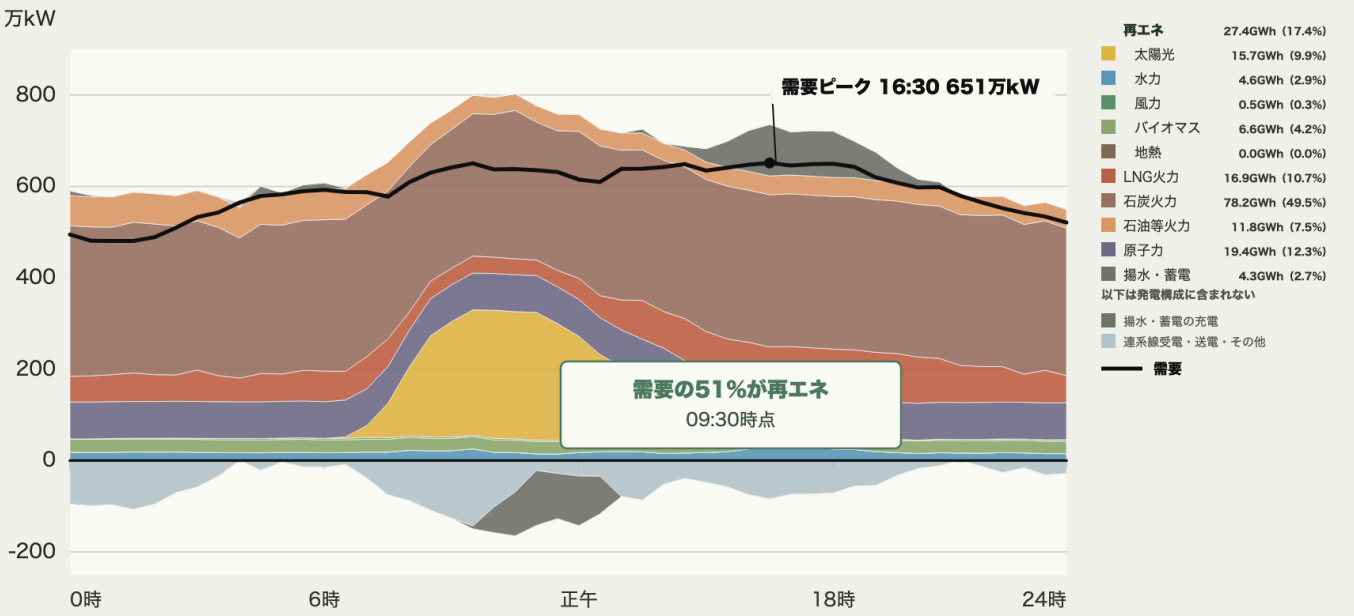
関西は、太陽光ピーク433万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は31.9%だった。

2026年11月4日の供給実績

中国エリア

再エネ
27.4GWh
（発電電力量ベース17.4%）

中国エリア 2026年11月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
158.0GWh

需要ピーク
16:30、651万kW

連系線・その他
13.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.8GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

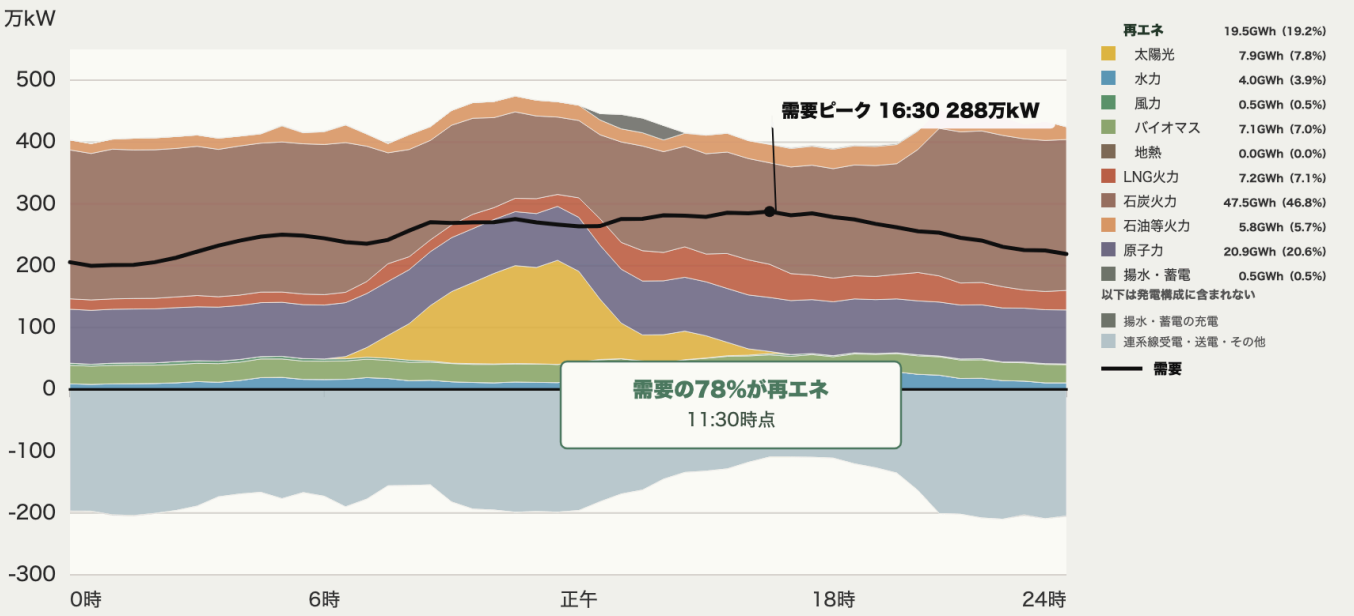
中国は、太陽光ピーク281万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は51.6%だった。

2026年11月4日の供給実績

四国エリア

再エネ
19.5GWh
（発電電力量ベース19.2%）

四国エリア 2026年11月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
101.6GWh

需要ピーク
16:30、288万kW

連系線・その他
41.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

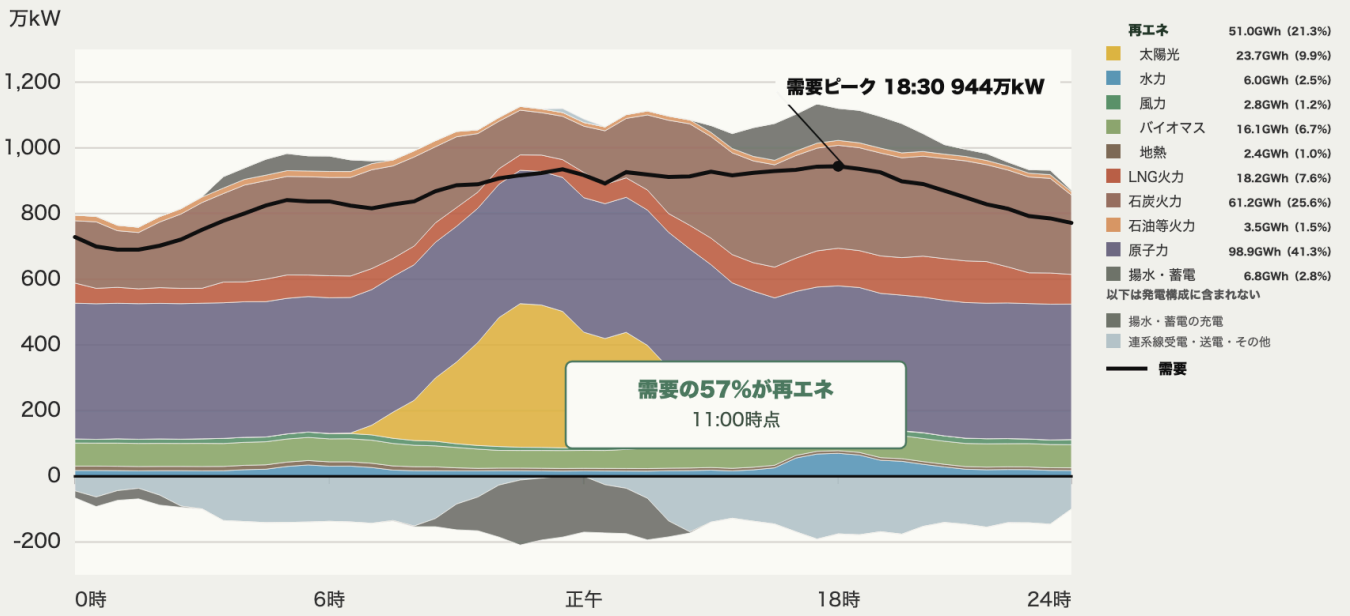
四国は、太陽光ピーク168万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は78.3%だった。

2026年11月4日の供給実績

九州エリア

再エネ
51.0GWh
（発電電力量ベース21.3%）

九州エリア 2026年11月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
239.6GWh

需要ピーク
18:30、944万kW

連系線・その他
26.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
8.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

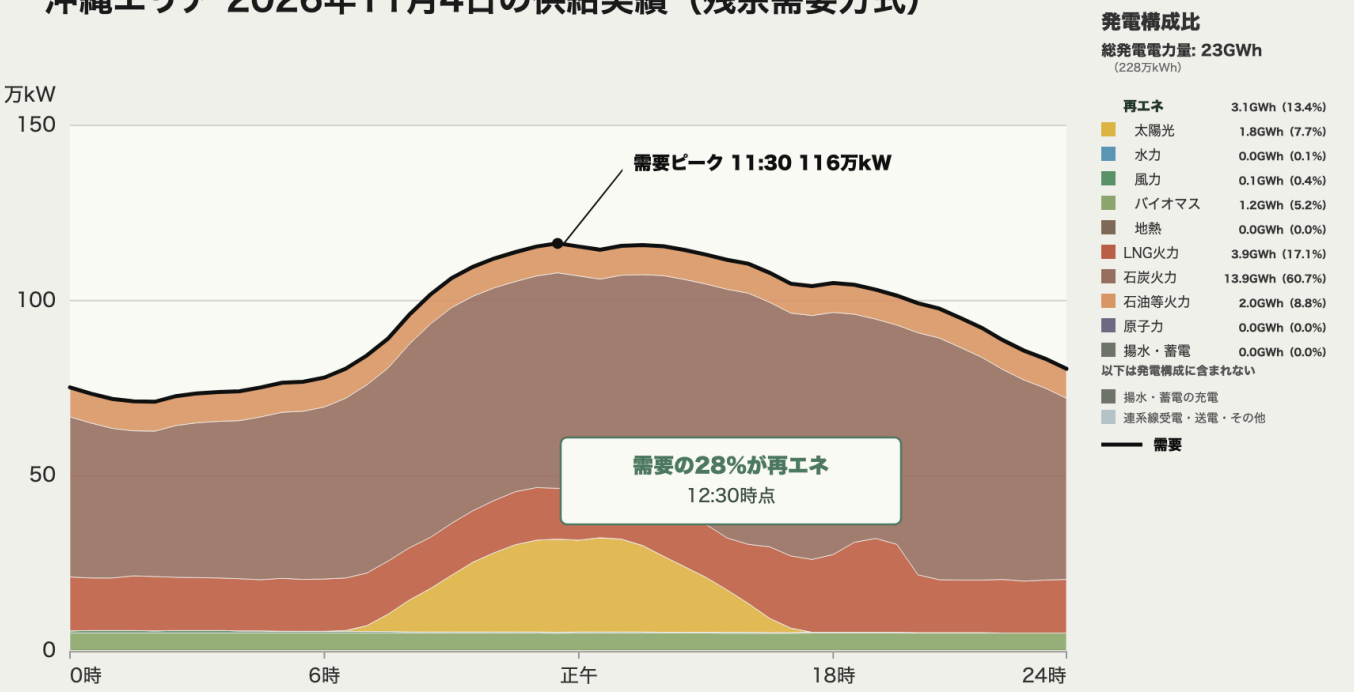
九州は、太陽光ピーク437万kW、風力ピーク17万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.4%だった。

2026年11月4日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.1GWh
（発電電力量ベース13.4%）

沖縄エリア 2026年11月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
22.8GWh

需要ピーク
11:30、116万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク27万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は28.2%だった。